

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日:2023年 11月 29日

事業所名:みらいおん

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|----------|--|--|---------------------------------|---------------------------|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保 | 必要なスペースを確保している。出来るだけ不必要なものを配置せず活動できるようにしている。 | 概ね良い。あまり見ていないのでわからない。 | 継続して安全なスペースを確保し、活動する。 |
| | 2 職員の適切な配置 | 適切な人員配置を行っている。 | 概ね良い。活動時間を見ていないのでわからない。 | 適切な人員配置を継続していく。 |
| | 3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備 | 視覚で分かるようマークなどで表示を行っている。 | 概ね良い。見ていないのでわからない。 | 特性などに適した環境整備を継続する。 |
| | 4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保 | 空調設備・明るさ・安全性など適した活動空間を備えている。 | 概ね良い。見ていないのでわからない。 | 清潔さを保ち、安心できる空間を整える。 |
| 業務改善 | 1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画 | 毎朝の職員会議での課題の抽出と一日の業務の流れの確認を行っている。 | | 支援に携わる職員全員の参画による業務改善に努める。 |
| | 2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施 | 苦情解決についての第三者委員会を設置している。 | | 継続する。 |
| | 3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保 | 社内外の研修の勧めと事業所内での事例検討の機会を確保している。 | | 継続する。 |
| 適切な支援の提供 | 1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成 | 実施している。 | | 継続し、それぞれの特性に合った支援を心掛ける。 |
| | 2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成 | 実施している。 | とても良い。保護者のニーズなども細かく受け取ってもらっている。 | 継続し、それぞれの特性に合った支援を心掛ける。 |
| | 3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載 | 実施している。 | | 継続し、それぞれの特性に合った支援を心掛ける。 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|--|--|-------------------------------------|----------------------------|-----------------------|
| 適切な支援の提供(続き) | 4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施 | モニタリングによる方向性の確認を行い、内容に沿った支援を実施している。 | 良い。それぞれの成長に合わせて実施されている。 | 計画に基づいて適切な支援を実施する。 |
| | 5 チーム全体での活動プログラムの立案 | 職員間で意見を出し合い立案し、協力している。 | | 更に様々な考えを出し合い、立案に努める。 |
| | 6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援 | 休日・長期休暇にはイベントや外出など計画している。 | 概ね良い。実際見ていないのでわからない。 | 様々な体験で経験が重なるよう工夫を凝らす。 |
| | 7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施 | 一応固定にはしているが、他曜日に組み込むなど工夫している。 | | 内容での固定につながらないよう検討する。 |
| | 8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底 | 当日職員全員での確認と徹底を行っている。 | | 継続し、役割分担などの徹底に努める。 |
| | 9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化 | 活動内容の振り返りや意見交換を行っている。 | | 伝達事項などは徹底を継続していく。 |
| | 10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施 | 記録確認・内容検証を行っている。 | | 徹底を継続し、検証や改善に努める。 |
| 11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し | 3ヶ月ごとのモニタリングを必ず行い、方向性を見直している。 | | 継続し、利用児童の変化に準じた見直しを検討していく。 | |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|----------|--|------------------------------------|-------------------------------|------------------------|
| 関係機関との連携 | 1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画 | 児童発達支援管理責任者及び管理者が出席している。 | | 継続し、各関係機関と連携をとっていく。 |
| | 2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施 | 現在のところ該当者はいない。 | | 該当者があれば関係機関との連携を密にする。 |
| | 3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備 | 現在のところ該当者はいない。 | | 該当者があれば関係機関と連絡の体制を整える。 |
| | 4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有 | 努めている。 | | 相互での情報交換に努め共有していく。 |
| | 5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、 | 必要であれば行うようにする。 | | 必要な場合は情報を提供する。 |
| | 6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進 | 機会があれば参加を促進していく。 | | 参加できるよう調整を行う。 |
| | 7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供 | 同系列グループ内での交流はできている。健全児とは公園での交流がある。 | わからない。制限も緩和され少しずつ交流機会が増えればいい。 | 今後機会を探っていく。 |
| | 8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営 | 今後課題となる。 | 機会があれば活動してほしい。 | 今後機会を探っていく。 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|---------------|--|-----------------------------------|---|--------------------------------|
| 保護者への説明責・連携支援 | 1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明 | サービス内容の丁寧な説明を心掛けている。 | とても良い。 | 継続し、分かりやすく説明をさせていただくようにする。 |
| | 2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明 | 更新の際、具体性をもって説明し、確認いただくようにしている。 | とても良い。 | 継続する。 |
| | 3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施 | 面談の際に助言を行うなど支援の方向性を統一するようにしている。 | 概ね良い。しているかどうかわからない。 | 個別に対応していく。 |
| | 4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底 | 連絡帳での個別のやり取りで対応している。 | 概ね良い。 | 継続し、今後も課題の共通理解に努める。 |
| | 5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施 | 家庭連携での相談支援に尽力している | 概ね良い。 | 個人的な話ができる環境を整えていく。 |
| | 6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援 | 感染予防の面から控えていた。 | いいえ、わからないが大半を占めた。感染症の経緯を見ながら開催を判断してほしい。 | 徐々に開催に向けて考えていきたい。 |
| | 7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応 | できるだけ丁寧な説明をし理解いただけるよう努めている。 | 概ね良い。 | 継続し、子どもや保護者からの要望に速やかに対応するようにする |
| | 8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮 | 後日確認をとったりしながら確実に伝わるようにしている。 | 概ね良い。 | 引き続き意思の疎通などには配慮していくようにする。 |
| | 9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信 | 月に一度通信を発行し、概ねの予定をお知らせしている。 | 概ね良い。 | 継続し、活動の理解につながるようにしていく。 |
| | 10 個人情報の取扱いに対する十分な対応 | 個人情報保護マニュアルに従い、情報漏洩には十分配慮し管理している。 | 概ね良い。 | 継続していく。 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|---------|---|------------------------------------|--------|--|
| 非常時等の対応 | 1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底 | 各マニュアルをいつでも見られる場所に置き、管理徹底し周知をしている。 | 概ね良い。 | 継続していく。 |
| | 2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施 | 地震・火災などの自然災害に向けて年2回訓練を実施している。 | 概ね良い。 | 継続し、毎回緊張感をもって実施する。 |
| | 3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応 | 年に2回は必ず虐待防止研修を行っている。 | | 全職員を対象としてどのようなことが該当するのかなど、細かく確認しあうようにする。 |
| | 4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載 | 十分な説明を行い理解をいただいたうえで計画書に記載している。 | | 十分な説明がなされるようにする。 |
| | 5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応 | 現在のところ該当者はいない。 | | 該当者があれば保護者との連携を密にする。 |
| | 6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底 | 発生時には報告書を作成。職員全員で共有し再発防止に努める。 | | 継続し、事例内容の共有を徹底する。再発防止を目指す。 |